

## 50202港湾荷役業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起 因 物  (小)	労 働 者 規 模
1	2018	1	14 ～ 15	埠頭内工場ポートにおいて、空コンテナを引き抜くため、トラクタヘッド後部・カプラーステージに乗り、ジャンパーホースを接続すべく、助手席側に移動した際、ステージ取り付けネジにつまずき、その勢いでステージから飛び降りてしまい、左足踵を打撲した。	56	3	221	50 ～ 99 人
2	2018	1	8 ～ 9	飼料のデバン作業に従事中、コンテナ開閉時に荷崩れが起き、荷物に押されて作業台から落ちてしまい、落ちる際に作業台に足が接触し、左足ふくらはぎ付近を負傷した。	54	1	611	30 ～ 49 人
3	2018	1	9 ～ 10	石炭を積んだダンプカーが積載量をオーバーしていたため、ダンプアップして少量の石炭を減らしたところ、ダンプカーの荷台と後部ドアの間に石炭の塊が挟まり、ドアが閉まらなくなった。被災者は同僚と、片足を荷台下で踏ん張り、右手で後部ドアの安全な所を持って、後部ドアを振り子のように手前に引いて離していたところ、バランスを崩し、左手を後部ドアキャッチ止め具に挟んだ。	45	7	221	30 ～ 49 人
4	2018	1	13 ～ 14	本社給油施設にミキサー車を駐車、給油作業のために降車したところ、積雪で地面状態が確認しにくい状況となっており、右足が排水溝にはまり、右足首をひねり、右足関節捻挫となった。	42	19	921	30 ～ 49 人
5	2018	1	11 ～	構内工場にて、現場の見回りを終え、タール運転管理室へ戻る際、西側駐車場内の車止めに右足が引っ掛かり、つまずいて転倒した。	44	1	221	30 ～

			12	その際、両手をつき、右環指末節骨を折った。				49 人
6	2018	1	13 ～ 14	床堀深さ40mの所で、新設ボックスカルバートと既設水路の接続のため、差し筋アンカーの設置の位置出し作業を行っていたところ、床堀法面が崩壊し、被害者が埋まった。	31	2	239	50 ～ 99 人
7	2018	1	13 ～ 14	コンテナ荷役作業を開始した。被災者は、ラッシング作業の準備をしていたが、バランスを崩し後ろに転倒した。事故当時は、船内に降りるための昇降口があり、蓋が開いていたため転倒した際に下半身が昇降口に入った状態となり、左下腿及び、右肩を負傷した。	31	2	239	50 ～ 99 人
8	2018	2	22 ～ 23	接岸中のコンテナ船のデッキ上でラッシング作業中、フェンスを乗り越えてコンテナのキャスティングにロングバーを掛けようとしたが、バランスを崩してロングバーを持ったまま海へ転落して被災した。	41	1	379	30 ～ 49 人
9	2018	2	8 ～ 9	トラックの荷台でワイヤーを降ろす作業中、荷台から降りるときにワイヤーに足が引っ掛かり、バランスを崩して地面に降りたときに、左足膝を打ち負傷した。	57	3	221	10 ～ 29 人
10	2018	2	8 ～ 9	吊り具の先が重なっているH鋼の間に挟まって抜けなくなり、吊り具を足で蹴って外そうとしたところ、蹴り上げた弾みでH鋼の隙間に手が入り込み、吊り具が外れたと同時に指先を挟んだ。	38	7	372	100 ～ 299 人
11	2018	2	11 ～ 12	H形鋼切断のための組替作業中、バンセンを外しているときに手前の2本が倒れ、リン木とH形鋼に右足甲を挟まれた。	38	7	222	10 ～ 29 人
			13	2号バースで荷役作業終了後、船内で作業していた重機をクレーンで岸壁に降ろしてもらい、クレーンのフックから重機を吊り下げる				

12	2018	3	～	スリングを外すため重機に上がり、体の向きを変えようとした。その際、足元をよく見ておらず排気管（マフラー）につまずいてバランスを崩し約230m下の地下に落下した。	71	1	142	1～9人
13	2018	3	18～19	被災者は埠頭バースに接岸中の本船にて、船内作業員として作業に従事していた。ハッチコーミングに腰を掛け、ホールド内を見ていた被災者はハッチクリート（ハッチカバーを固定するバー）に足をかけ、本船デッキ上に降りようとしたが、ハッチクリートが動いたことによりバランスを崩して落下し、デッキ上にあったバルブに接触し、受傷した。	28	1	921	—
14	2018	3	2～3	コンテナ船上にてハッチカバーと手すりの上に乗ってデッキのフタの上に上がろうとした際に、左足を滑らせて手すりに左足を打つ形でハッチカバーと手すりの間に足が挟まり、左腓骨を折ってしまった。	31	3	391	1～9人
15	2018	3	9～10	荷さばき地でコンテナ内にてカーターのバン詰め作業を行っていた際、天井近くの貨物を積んでいるとき、土台から足を踏み外し手から床に落ちたため、左手首を骨折した。	52	1	379	30～49人
16	2018	3	19～20	洗車場にて洗車後の片付けをするために、水道高圧水で土砂等を水で流していると、急に元栓のホースが抜け真上に水が吹き出し早くバルブを止めようと、走って洗車場の中に入ったとき、幅88cm、深さ4.5cmの洗車場の水切りに左足先が引っかかり前側に転倒し、コンクリート面に右膝を打つ。	38	2	418	50～99人
17	2018	3	17～18	15tトラックを止めて、現場監督と明日の業務の予定について話をしていた。トラックのドアが開いていて、そのドアに右手をおいて話をしていたため、強風が吹きドアがいきなり閉まり右手を挟んで右手小指先骨折、右手人差し指を負傷した（15針縫合）。	25	7	221	30～49人
				5号岸壁に出張して、フラットラックコンテナ（天井壁のないコ				

18	2018	3	14 ～ 15	ンテナー) に貨物の固定作業をしていた。高さ約1.5メートルのコンテナーの端に腰をかけて地面に降りようとしたとき、腰袋に装着していたハンマーの柄が体の真下にあったコンテナーのラッシングポイント (角材等を立てるためのパイプ、深さ約30センチ) に入り、宙づり状態のあと、体が回転して顔面を地面に強打した。	35	1	391	10 ～ 29 人
19	2018	4	16 ～ 17	鉄板 (3m×10m) に手を添えて降ろしていたところ、雨で手袋が濡れていたために手が滑り、鉄板のバリが右手小指の付け根から薬指にかけて刺さり負傷した。	64	8	521	10 ～ 29 人
20	2018	4	17 ～ 18	艙内で原木の荷揃えを行っていたところ、荷崩れした原木に右足甲 (親指の付け根) を挟まれ負傷した。	30	5	522	100 ～ 299 人
21	2018	5	14 ～ 15	ユニック車を誘導している際、倉庫内に置いてあった木製ダンネジの右端をユニック車左後輪が踏んだ勢いでダンネジが跳ね、ダンネジ左端部が被災者の顎部に当たり損傷した。	23	4	221	100 ～ 299 人
22	2018	5	7 ～ 8	信号のない交差点で一時停止中、後方より車両に衝突された。	47	17	231	10 ～ 29 人
23	2018	5	10 ～ 11	倉庫の庫外にてフォークリフトで鋼材をすくう際に下に敷いてあった鉄板にフォークの爪が引っ掛かり、フォークリフトの手元作業を行っていた作業員の左足首に鉄板が当たり骨折した。	47	6	222	1～ 9人
24	2018	5	11 ～ 12	台船に製品を電気クレーンで積み込み終了後、製品上にシートを被せる作業中、製品上から下に降りたときに枕木があるのに気付かず枕木の角を踏んだ際に、足首をひねり捻挫した。	51	19	921	30 ～ 49 人

25	2018	6	10 ～ 11	外航修理工場で、22tフォークリフトのタイヤ（外径1400mm）交換を手伝う際、本来は2名で運ぶタイヤを被災者が単独で転がして運んだ。その際にバランスを崩し、重さ140kgのタイヤが被災者の右足に倒れ、アキレス腱を切り、右足首を捻挫した。	0	6	222	100 ～ 299 人
26	2018	6	18 ～ 19	接岸本線へのコンテナ積み込み作業中、左足を踏み外して捻挫した。	24	1	371	10 ～ 29 人
27	2018	6	9 ～ 10	40フィートコンテナから荷物をデバンする際、邪魔になるビニールがあり、カッターで切り取り除いたところ、最上段から荷崩れしそうになったため、パレットに置こうと後ろ向きになったときに荷崩れし、作業員2人が荷物と一緒にパレットから落下した。	28	5	611	50 ～ 99 人
28	2018	6	21 ～ 22	被災作業員がリフトを止めて降車しようとしたとき、周囲の確認を怠り、別作業員が運転するリフトと接触し、左前輪に右足を轢かれた。	38	6	222	50 ～ 99 人
29	2018	6	21 ～ 22	定期船出港後、フォークリフトを回送するため、運転席に乗り込んだところ、他の運転手が置き忘れた鍵に気付き、運転手に渡そうと運転席2段目のステップから飛び下りたとき、窪地に足首をとられて負傷した。	30	2	417	10 ～ 29 人
30	2018	7	9 ～ 10	バン詰作業準備のため、角材をフォークリフトの爪の上に降ろそうとした際、右手の軍手が角材のささくれに引っ掛かり、爪と角材の間に右手親指を挟まれ先端が切断した。	50	7	522	30 ～ 49 人
31	2018	7	18 ～ 19	2段積ブルームをラッシングワイヤーで固定中、誤って2段積みブルームとブルームの間に左足を突っ込み、左足膝外側部を打撲した。	41	1	521	50 ～ 99 人

32	2018	7	15 ～ 16	コンテナターミナル整備工場内にて、ストラドルキャリアのトルクシャフトベアリング交換作業中、トルクシャフトからスプロケットを取り外す際、スプロケットの一部が欠け、金属片が被災者の左足大腿部に刺さり負傷した。	41	4	364	100 ～ 299 人
33	2018	7	15 ～ 16	貨物の取り扱い作業中、休憩のため詰所の階段を上るときに左右の足がつり、熱中症となった。	29	11	715	10 ～ 29 人
34	2018	8	14 ～ 15	天井クレーンで鋼材を吊り上げ移動していたが、支点がずれており荷が傾いたので直そうと、クレーンを降ろしコマの位置を調整していたが、誤ってコマと鋼材の間に右手示指、中指を挟んだ。	29	7	211	1～ 9人
35	2018	8	12 ～ 13	海上コンテナ洗浄のため、観音扉を開けようとしたが、扉が固く開かないので力を入れたとき、胸に痛みが走り、肋骨を折った。	47	19	921	50 ～ 99 人
36	2018	8	13 ～ 14	船内荷役作業中に、船尾側から船首側に向かい竹ぼうきで掃いていて、壁面及びヤゲン上部に穀物ダストが付着している箇所を見つけ、払い落とそうとヤゲン上部に右足をかけて清掃をしていたところ、傾斜で足を滑らせてひねった。	20	19	239	100 ～ 299 人
37	2018	8	11 ～ 12	倉庫に保管してある貨物をフォークリフトで出庫作業に向かう際、倉庫の開閉スイッチを被災者が掴みやすいようフォークリフトを近づけながら旋回したところ、被災者がフォークリフトから飛び降り、その際、左側後輪で被災者の足を轢いた。	54	7	222	100 ～ 299 人
38	2018	8	13 ～ 14	出荷物であるH型鋼をクレーンで置き場より吊り上げ、仮置き場まで持ってきて着地させようとした際、H型鋼の1つが不安定であったため、盤木を使い安定を試み、ワイヤーを外そうとH型鋼に近づいたとき、H型鋼が倒れてきて被災した。	45	6	521	10 ～ 29 人



45	2018	9	14 ～ 15	停泊している船内で、荷役作業の準備のため、3段に積まれた鉄コイルの最上段の荷崩れ防止バンドを切る作業中、足を滑らせて転倒し、1段目のコイルの端にお尻が当たった。	29	1	371	～ 29 人
46	2018	9	12 ～ 13	岸壁揚げの玉外し作業時、玉掛用ベルトスリングを外しに近づき、荷物を岸壁に降ろした際、上2段が崩れかかったためもう一度巻き直して下げたが、ずれた2段の上段が更に荷崩れを起こし、右膝に当たって負傷した。	66	4	611	30 ～ 49 人
47	2018	9	14 ～ 15	コンテナの揚げ下ろし作業の誘導中、船内を移動する際に昇降ラダー蓋の上に足を乗せたところ、腐食していた蓋の蝶つがいを外れ、蓋ごと約1.7m下の通路に落下しそうになったため、咄嗟に両肘を張って落下を防ごうとした際、右肩と左膝をラダー枠内にぶつけて受傷した。	36	1	414	100 ～ 299 人
48	2018	9	14 ～ 15	停泊している船内で、荷役作業の準備のため、3段に積まれた鉄コイルの最上段の荷崩れ防止バンドを切る作業中、足を滑らせて転倒し、1段目のコイルの端にお尻が当たった。	29	1	371	10 ～ 29 人
49	2018	9	12 ～ 13	岸壁揚げの玉外し作業時、玉掛用ベルトスリングを外しに近づき、荷物を岸壁に降ろした際、上2段が崩れかかったためもう一度巻き直して下げたが、ずれた2段の上段が更に荷崩れを起こし、右膝に当たって負傷した。	66	4	611	30 ～ 49 人
50	2018	9	14 ～ 15	コンテナの揚げ下ろし作業の誘導中、船内を移動する際に昇降ラダー蓋の上に足を乗せたところ、腐食していた蓋の蝶つがいを外れ、蓋ごと約1.7m下の通路に落下しそうになったため、咄嗟に両肘を張って落下を防ごうとした際、右肩と左膝をラダー枠内にぶつけて受傷した。	36	1	414	100 ～ 299 人
51	2018	9	14 ～	停泊している船内で、荷役作業の準備のため、3段に積まれた鉄コイルの最上段の荷崩れ防止バンドを切る作業中、足を滑らせて転倒	29	1	371	10 ～





58	2018	10	14 ～ 15	冷凍鰹の水揚げ作業中、冷凍鰹を持ち上げる際に腰を痛めた。	49	19	921	～ 29 人
59	2018	10	15 ～ 16	出荷場で1t綿材を出荷する際、置き架台に7束を載せて検品していた。3束目を検品する途中で綿材が倒れ、右足を挟まれた。	47	7	521	30 ～ 49 人
60	2018	10	6 ～ 7	海上コンテナをコンテナ船へ積み込むため、船内でコンテナ固定用バーを設置する際、バーがコンテナにうまく掛からなかったため、被災者がコンテナへ登ってバーを掛ける補助を行った。作業を終えてコンテナから降りる途中、腕に力が入らなくなり墜落した。	35	1	611	100 ～ 299 人
61	2018	10	7 ～ 8	チップ船に木材チップを積み込む際、木材チップの落下防止のためブルーシートを設置する作業を行った。作業を終えて下船する際、昇降用はしごの設置を待たずに被災作業員が飛び下りたところ、右足踵骨を折った。	46	1	239	50 ～ 99 人
62	2018	11	17 ～ 18	トラック荷台からフォークリフトでフレコンを下ろす際、被災者は荷台上で手縄作業に従事していた。フォークリフトのアタッチメントと手縄の間に被災者の手袋が挟まれていること気付かず、フォークリフトが後進した。その際、被災者が手袋を抜こうとしたが間に合わず、手袋ごとフォークリフトに引っ張られ、トラックから落下して負傷した。	61	1	221	100 ～ 299 人
63	2018	11	21 ～ 22	退勤時、階段で足を滑らせて最上段から12段ほど滑落し、左足をひねった。	50	1	413	100 ～ 299 人
64	2018	11	13	船内で積み付けたコイルの固縛作業中、帯鉄を用いて両隣のコイルを固縛する際にコイル上で足が滑り、1.2m下の船底へ滑落して両膝	66	1	611	30 ～

			14	をぶつけた。				49 人
65	2018	11	10 ～ 11	倉庫内で、天井クレーンで鋼材を空きスペースに下ろそうとしたとき、隣に積んであった鋼材にぶつかって落下し、下で準備していた被災者の右肩・右腕・右手に当たった。	55	4	521	1～ 9人
66	2018	12	13 ～ 14	RHクレーンで水切りを行っていた線材を配替するためトレーラーを待避台に横付け、トレーラー台車上に引くコンパネを持ち待避台を上っていた。足が滑ってコンクリート待避台に右足を挟み、右足を骨折した。	64	1	371	30 ～ 49 人
67	2018	12	10 ～ 11	本船の積み荷作業のため、積み付けていた2段目コンテナ上で待機中、吊り上げてきた12Fコンテナの片方が先積みしていたコンテナの端に掛かった。そのため、巻き下げ作業を止め吊り直そうとしたところ、船体が揺れて中に落ち込んだ片方が、振り子の原理で跳ね上がり、戻ってきた際に、被災者の足に当たり左足を巻き込み、据え付けたコンテナと吊り上げたコンテナの間に挟み込み負傷した。	64	6	611	50 ～ 99 人

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。